

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所

【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所（後期3年だけの博士課程）では、強い学習意欲と優れた学力を有し、かつ、子どものこころの課題の解決に対して強い使命感と真摯な姿勢を持った以下のような人材を求めています。

- （1）子どものこころの課題に関して、明確な目的意識を持ち、科学的な対処法の発見により我が国の未来に貢献しようという高い志を持つ人。
 - （2）経験則にとらわれず、異なる背景の専門家に対してもオープンな姿勢を保ち、新たな科学的視点を持つことを希求する人。
 - （3）生涯を通じて学習意欲を持続し、自立的・意欲的な問題解決能力を有する人。
 - （4）問題を抱える子どもの支援ネットワークのリーダーになるべく、協調性・柔軟性のある思考ができ、社会性を備え、社会的弱者に対して深い共感性と洞察力をもって接することができる人。
- また、入学選抜の基本方針として、統一した入学試験を以下により行います。

（1）筆記試験

外国語（英語）の筆記試験により、学術論文等を読み解く読解力と、学位論文作成に必要な表現力、論理的思考力等を考査します。

（2）面接試験

将来、どのような姿勢で子どものこころの課題に取り組むのか、また、同問題に関する意欲、熱意、将来性を評価すると同時に、標準修業年限内での学位論文の作成の可能性についても審査します。